

第 11 回 日野川水害タイムライン検討会

日時：令和 6 年 12 月 4 日（水）

10 時 00 分～12 時 00 分

場所：日野川河川事務所 別館 2F 会議室、
WEB 会議

次 第

1. 開会挨拶
2. 令和 6 年度の振り返り
3. 事前アンケート結果
4. タイムラインの改善に向けた意見交換
5. 連絡事項
6. 質疑応答
7. 講評
8. 閉会

【配布資料】

- ・ 次第
- ・ 出席者名簿、配席表
- ・ 資料 1 令和 6 年度の振り返り
- ・ 資料 2 事前アンケート結果
- ・ 資料 3 タイムラインの改善に向けた意見交換
- ・ 資料 4 連絡事項

2. 令和6年度の振り返り

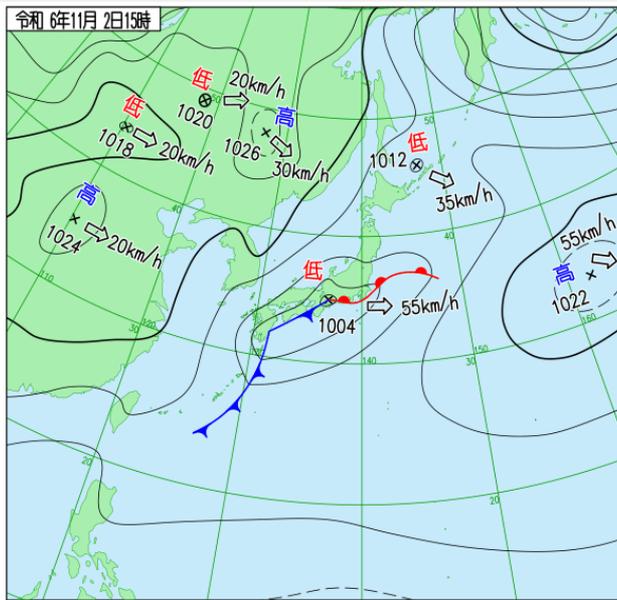
タイムラインの発動状況

- 令和6年度はタイムラインを計2回発動。
- レベル到達は最高でレベル2であり、8/23～9/2の台風、11/1～11/3の大雨により2回到達。

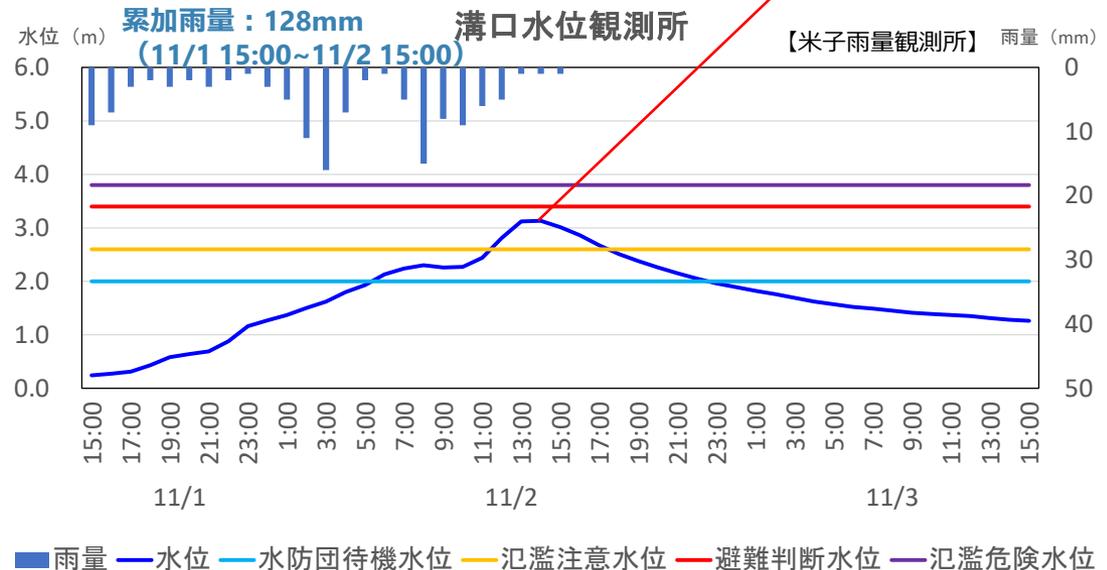
	期間	要因	レベル到達
①	8/23～9/2	台風10号	レベル2
②	11/1～11/3	台風から変わった低気圧や前線の影響	レベル2

②11/1～11/3 前線への警戒

- ✓ 西日本に停滞する前線や低気圧の影響により、全国各地で大雨が発生。



出典：過去の天気図/気象庁HP



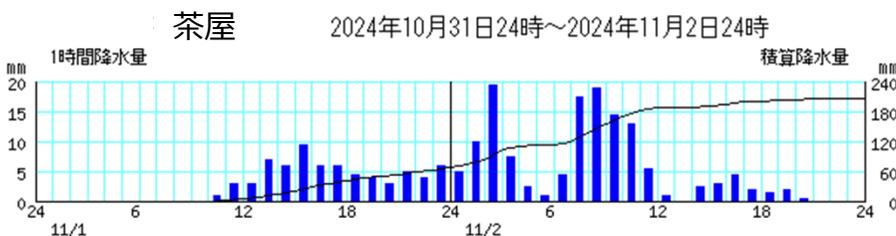
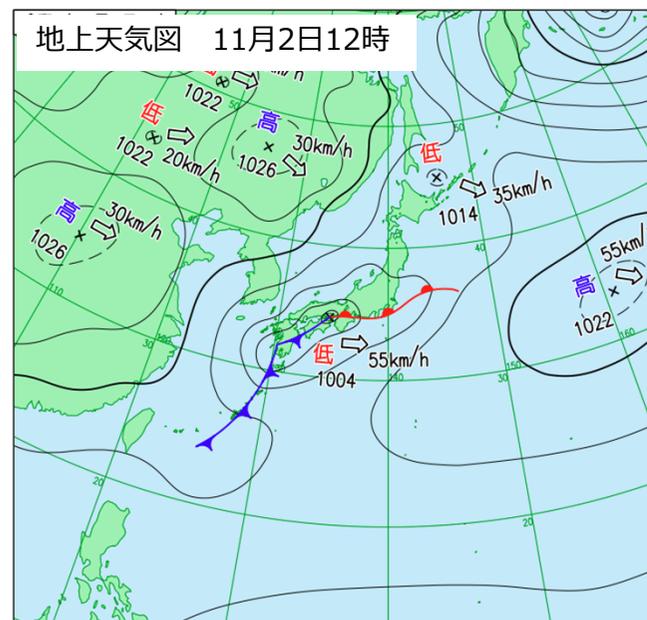
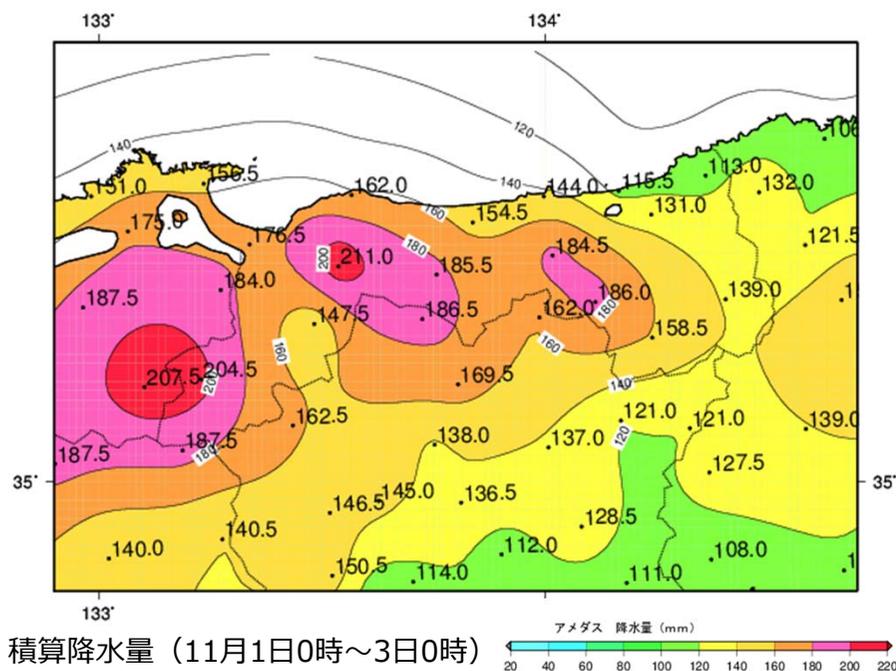
11月2日の大雨について

【概況】

台風第21号が東シナ海を北東進し11月1日21時に温帯低気圧に変わり、東に進んだ。2日12時、前線上に別の低気圧が西日本で発生し、東日本に進んだ。前線や低気圧に向かって暖かく湿った空気が入り、大気の状態が不安定となった。

鳥取県では、1日昼前には全域で雨となり、2日午前中は激しい雨が降った所があった。中・西部を中心に総雨量が多くなり、大雨警報（土砂災害、浸水害）、洪水警報を発表した。また、日野川氾濫注意情報を2日12時00分に発表した。

24時間降水量は、岩井を除くすべての地点で今年最大の値となった。



- ・台風の北上の影響もあり、上空約1500メートルには、約13度の暖湿気（松江：平年より約8度高い9月中旬並み）が流入した
- ・前線がゆっくり北上して接近し、降水が続き、総雨量200ミリを超えた地域があった

3. 事前アンケート結果

(1) アンケート概要

- 令和6年度出水期の振り返りを目的として、**タイムラインや情報提供システムに関するアンケート**を実施。

実施期間 | 令和6年11月1日(金)～11月15日(金)

アンケート内容 |

- I. 今年度の出水対応について
- II. タイムラインの活用状況及び改善要望
- III. タイムラインの効果的な運用に向けた取組
- IV. 日野川水害タイムライン情報提供システムについて
- V. 自由意見

回答機関 | 17/49機関 (約35%)

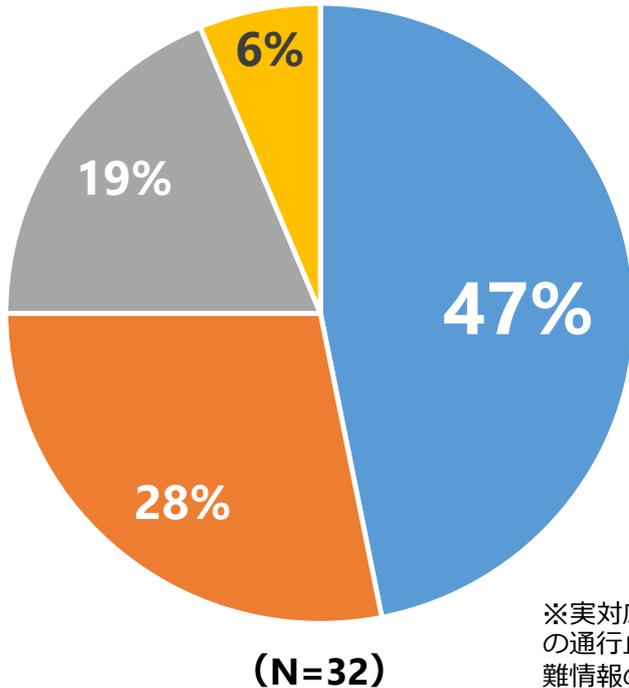
ご協力ありがとうございました。

(2) 事前アンケート結果

I.今年度における出水対応について

I-1.今年度の台風や前線に対して、どのような出水対応を行ったか

8月23日～9月2日
(台風への警戒)



※実対応：公共交通機関の運休や道路の通行止め、水防警報・洪水予報・避難情報の発信等の実働を伴う対応

区分	具体的な対応内容
情報収集	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 新聞、ニュース、気象庁HP、防災無線、タイムライン、ポータルサイトおよびマルチ画面（収集手段） ✓ テレメーター水位 及びライブカメラ、ダム情報（収集内容）
体制確立	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 事案に対する緊急体制確立 ✓ 災害対策本部等の設置
実対応	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 台風説明会の開催市道の通行止め、列車の運転休止 ✓ 台風接近に伴うテレビニュース報道
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自治体支援

■ 情報収集 ■ 体制の確立 ■ 実対応 ■ その他

- 台風10号における出水対応は、約5割の機関が「情報収集」までにとどまり、**実対応が必要な状況には至らなかった。**
- **11/1～11/3にかけての大雨における対応状況**について後ほど意見交換。

I.今年度における出水対応について

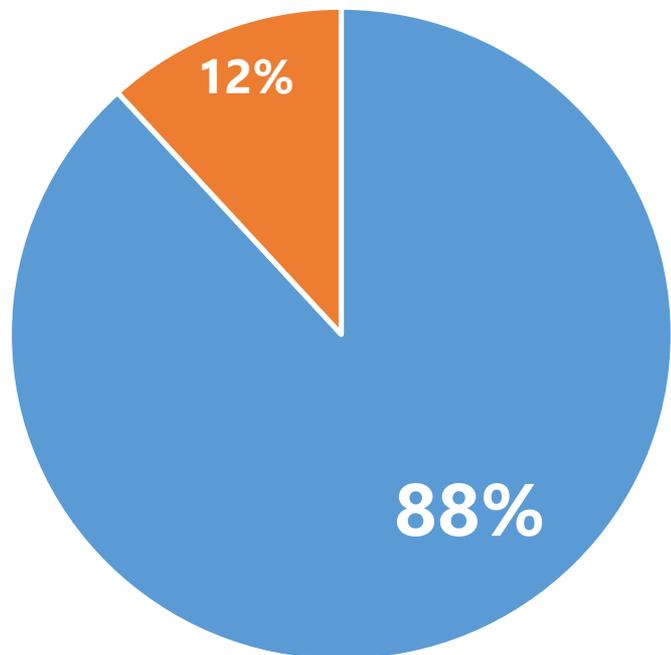
I -2.今年度の出水対応において良かった点や改善が必要な事項

項目	意見
良かった点	<ul style="list-style-type: none">✓事前の雨情報をもとに、運転休止などの対応を計画的に実施できた。✓タイムライン情報提供システム等を活用して、効率的に情報収集を行い、今後の見通しを予測しながら対応することができた。✓台風接近に伴い事前にタイムラインの発動案内が届いたので、注視しようと心構えができた。
改善点	<ul style="list-style-type: none">✓数多くの情報がありすぎて、逆に情報が埋もれてしまう状況が生じがち。スムーズに整理できる方法を模索している。

Ⅱ. タイムラインの活用状況及び改善要望

① 発動メールの活用状況

Ⅱ-1. 台風10号のタイムライン発動時においてMLに発出されたメールを確認したか



(N=17)

■ 確認した ■ 確認しなかった

確認しなかった理由

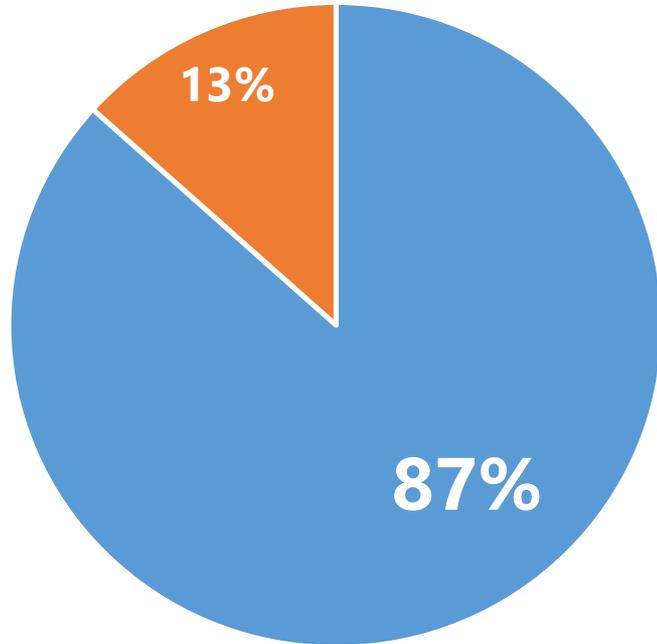
- ✓ 具体的な対応の必要性が無かったため。
- ✓ メールアドレス設定等の事前準備不足のためメールが確認できない。

■ 約9割と多くの機関がタイムライン発動時のメールを確認。

Ⅱ.タイムラインの活用状況及び改善要望

①発動メールの活用状況

Ⅱ-1.メールによる情報が役立ったか、その理由



(N=15)

■ 役立った ■ 役立たなかった

役立った理由
<レベル感の把握> ✓ 想定レベルの把握ができた。 ✓ 日野川の水位のレベル感を知ることができた。
<災害対応への活用> ✓ 災害対応の準備等に活用できた。 ✓ 施設避難計画に連動しているため、本部立ち上げなどの基準とすることができた。 ✓ 担当者欠勤時、不在時にかかわらず施設内において迅速に情報共有できる。

役立たなかった理由
✓ メールで受信しているがその情報が埋もれてしまう。 ✓ タイムライン発動前から防災体制は取っていたため、タイムラインが立ち上がったことによる次の行動、というわけではないため。状況確認として確認をした。

■ メールを確認した機関の約9割がメールが役立ったと感じている。

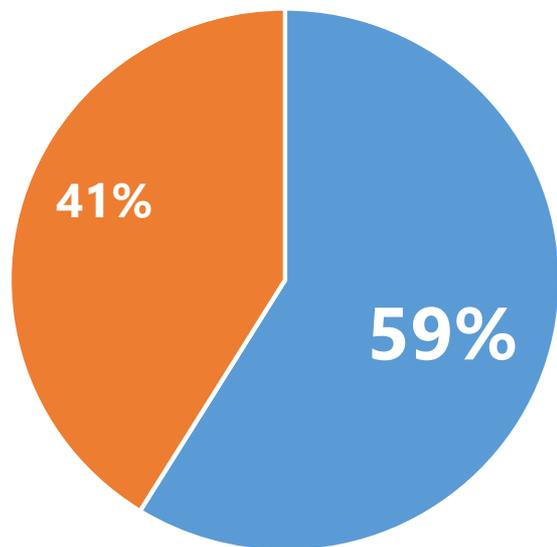
Ⅱ.タイムラインの活用状況及び改善要望

②タイムラインの活用状況

Ⅱ-2.台風10号においてタイムラインを活用したか

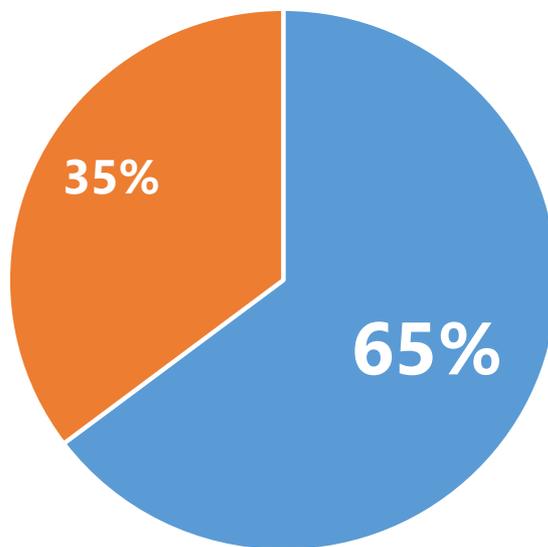
タイムラインレベル準備

(8/23 14 : 00)



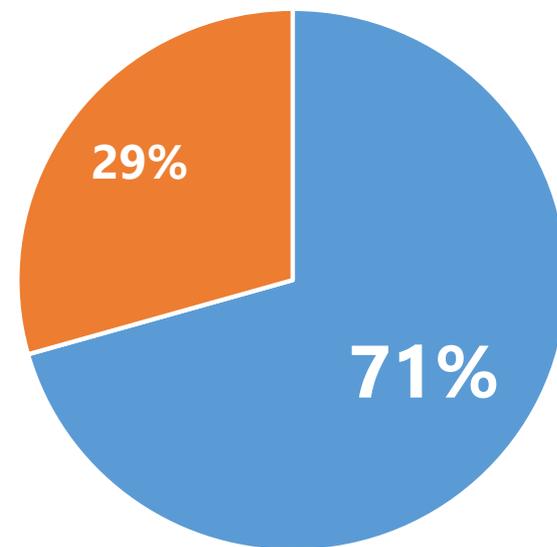
タイムラインレベル注意

(8/28 17 : 00)



タイムラインレベル2

(8/31 3 : 30)



(N=17)

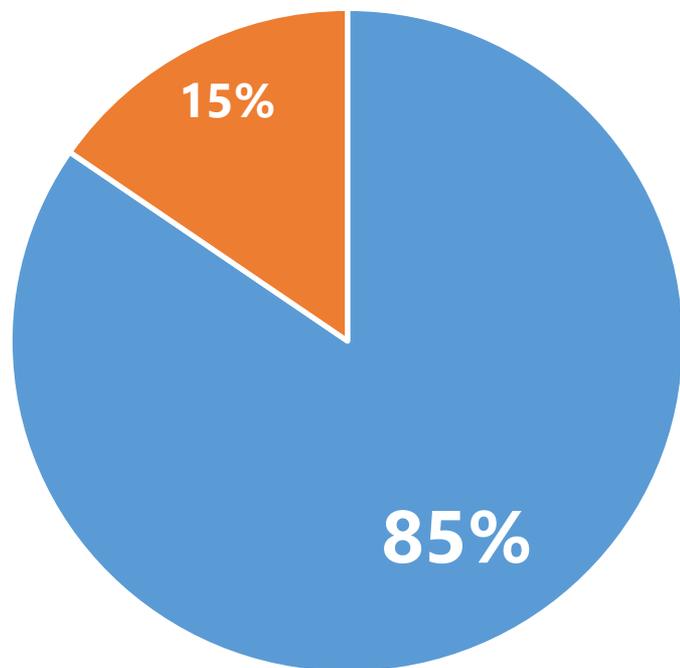
■ 活用した ■ 活用しなかった

- 台風10号において、約7割の機関がタイムラインを活用。
- レベルがより高い状況になるとタイムラインを活用した機関が多くなっている。

Ⅱ.タイムラインの活用状況及び改善要望

②タイムラインの活用状況

Ⅱ-2.タイムラインが役立ったか、その理由



(N=17)

■ 役に立った ■ 役に立たなかった

役に立った理由
<行動の目安として活用> ✓ 避難等、準備にかかる指標 ✓ 災害対応の準備 ✓ 念のため必要な確認を行った。 ✓ 都度、現時点でどのレベルなのかを確認できたため、その後の予測などが出来、役に立った。

役に立たなかった理由
✓ 気象に関する他の情報で今回は十分だったため ✓ レベル準備、レベル注意の時点で確認したが、まだ降雨がひどくなる前なので頻繁に利用することはなかった。

■ タイムラインを確認した機関の約9割がタイムラインが役に立ったと感じている。

Ⅱ.タイムラインの活用状況及び改善要望

②タイムラインの活用状況

Ⅱ-2.台風10号においてタイムラインを確認しなかった理由

区分	確認しなかった理由
他の方法を使用した	✓基本的に 自社での基準により判断 するため。 ✓県としては 県管理のシステム画面 の方で情報収集を行っていた。
活用する必要がなかった	✓原則として当施設としては 避難するかどうか が焦点であるため、 逐一確認する必要は乏しい と考えた。
確認できなかった	✓ メール確認できない 。(メールアドレス設定等の事前準備不足のため)

- 活用しなかった理由として、**タイムライン以外の方法や自機関のマニュアルに基づいて判断**したといった回答が挙げられた。

Ⅲ.タイムラインの効果的な運用に向けた取組について 危機感共有定例会

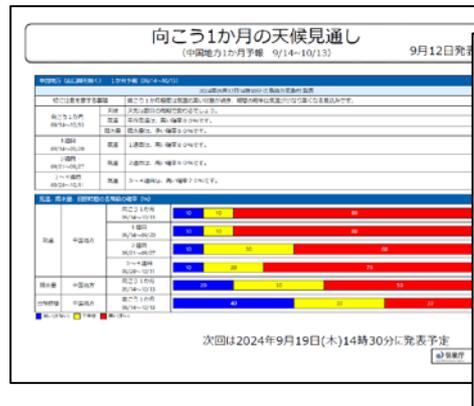
■ 関係機関が**平時から顔を合わせ、出水に対する危機感を共有する**ことを目的として、危機感共有定例会を台風期の各月に1回開催しました。

開催概要

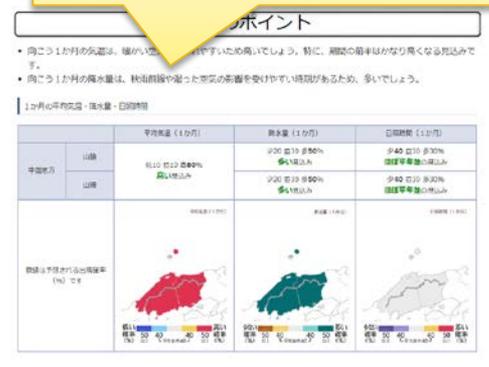
8月はウェビナーと併せて3回開催

日時	令和6年8月6～8日 令和6年9月18日 令和6年10月9日	各30分
場所	Web会議	
参加者	計16機関	
議事	<ol style="list-style-type: none"> 趣旨説明 当該月の天候の見通し（鳥取地方気象台） 過去の当該月に発生した日野川の水害（日野川河川事務所） 関係機関からの情報提供 質疑応答 	

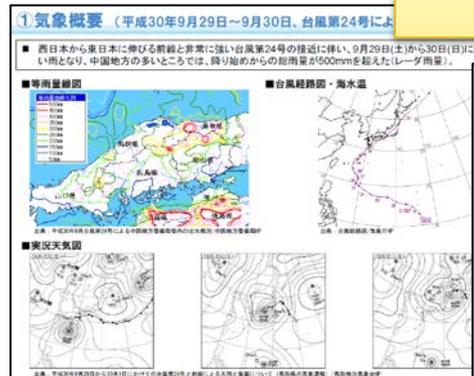
各機関からの情報提供



鳥取地方気象台から、当該月の**天候の見通し**を解説



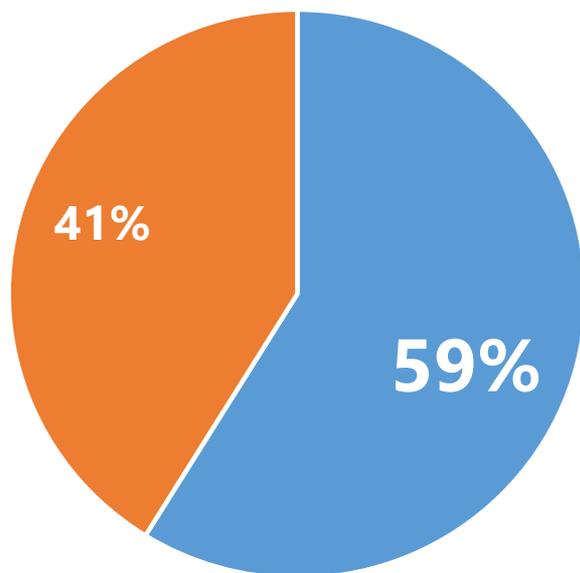
日野川河川事務所から、過去当該月に日野川で発生した水害時の状況（気象・水位・被害等）を説明



Ⅲ.タイムラインの効果的な運用に向けた取組について

①危機感共有定例会の参加状況

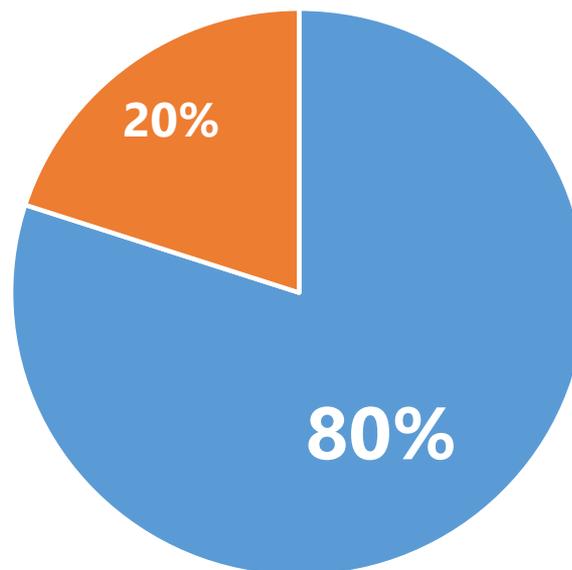
Ⅲ-1.危機感共有定例会に
参加したか



(N=17)

■ 参加した
■ 参加しなかった

参加した場合、
役立ったか



(N=10)

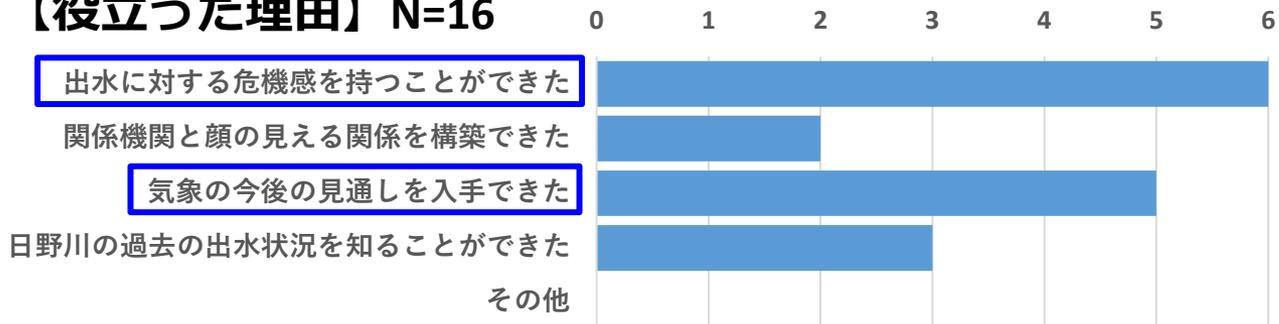
■ 役立った
■ 役立たなかった

- 今年度から新たに実施した危機感共有定例会に約6割の機関が参加。
- 参加した機関の約8割が役立ったと回答。

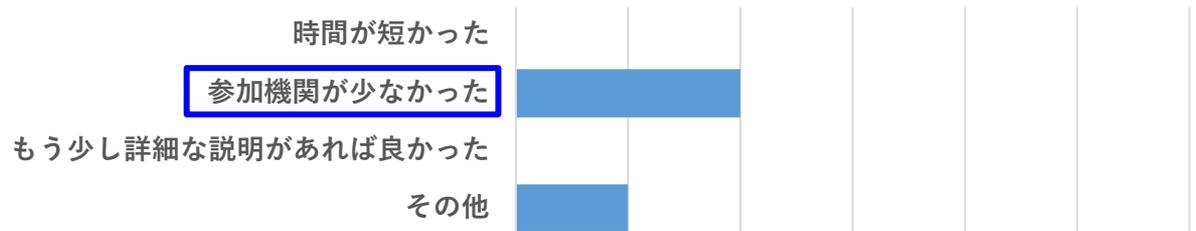
Ⅲ.タイムラインの効果的な運用に向けた取組について

①危機感共有定例会の参加状況

【役立った理由】 N=16



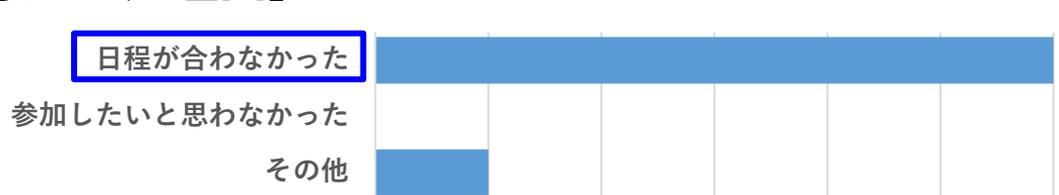
【役立たなかった理由】 N=3



役立たなかったその他の理由

- ✓ 参加する全ての機関が顔出しして意見交換が出来れば良かった。

【参加しなかった理由】 N=7



参加しなかったその他の理由

- ✓ Web形式（Teams）が利用不可のため

- 出水に対する危機感や今後の気象の見通しの共有が役立ったと回答が挙げられた。
- 参加機関が多ければ良かった、日程やWeb会議システムの都合で活用できなかったとの意見もあり。

Ⅲ. タイムラインの効果的な運用に向けた取組について ウェビナー

- 関係機関が**平時からタイムラインの概要や運用方法を確認**することを目的として、タイムラインに関するウェビナーを台風期の初め（8月）に3回開催しました。

開催概要

危機感共有定例会と同時開催

日時	令和6年8月6日 令和6年8月7日 令和6年8月8日	各1時間
場所	Web会議	
参加者	計10機関	
議事	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎コース <ul style="list-style-type: none"> ▶ タイムラインの目的・効果 ▶ 想定ハザードや被災シナリオ ▶ タイムラインにおける各機関の役割 2. 活用コース <ul style="list-style-type: none"> ▶ タイムライン運用方法 ▶ タイムライン活用例 3. 実践コース <ul style="list-style-type: none"> ▶ 情報提供システムの各機能 ▶ レベル毎のシステム活用方法 	

ウェビナーの説明内容

1. タイムラインの概要、目的

(1) タイムラインとは

タイムライン（防災行動計画）とは・・・

タイムラインを構成する**3つの要素**

- 「いつ」⇒ 主な災害の発生時点から逆算した時間帯
- 「何を」⇒ 事前に行う防災行動内容（あらかじめ計画）
- 「誰が」⇒ 防災機関や組織または住民

ポイント

1. タイムラインとは
 - ・災害時の行動について、「いつ」「何を」「誰が」の3つの要素を予め定めたもの。
2. タイムラインの目的・効果
 - ・各機関が防災行動を迅速に実施し、災害対応力を向上させることが目的。
 - ・「先を見越した早め早めの行動」や「抜け、遅れ、落ちの防止」、「顔の見える関係構築」などの効果が期待。
3. 検討会の位置付け
 - ・検討会や出水時の実対応を振り返り、より実効性のあるタイムラインへとブラッシュアップ。

タイムライン解説動画を用いて重要なポイントを解説

タイムラインレベル毎の情報提供システム活用方法

タイムラインレベル準備～注意

① マルチ画面機能：複数の防災・気象情報を一度に同時に

- 全部で5個のウィンドウで状況を確認
- 様々な情報を俯瞰的に監視

事前準備段階（台風・前線発生時）

活用場面

- ・台風発生段階あるいは大型前線の発生段階で、全国的な気象状況を把握し、大雨危険度や海水温などを確認し、今後の対応の取組みを把握するのにも活用
- ・海水の温度が高いと水害の発生

タイムラインレベル準備（注意・警戒）の初期画面

- 気象情報・注意報（全国）
- 気象予報（中国地方）
- 大雨危険度（全国）
- 海水温

タイムラインレベル1～2

① マルチ画面機能：複数の防災・気象情報を一度に同時に監視

- 全部で5個のウィンドウで状況を確認
- 様々な情報を俯瞰的に監視

出水初期対応段階（降雨開始時）

活用場面

- ・ 雨が降り始めるなど台風や前線の影響を受け始めたら、中国地方に特化した気象状況の把握に活用
- ・ 降水量とレーダー画像で雨雲状況について把握し、今後の河川水位に与える影響を予測するのにも活用

タイムラインレベル1～2：気象情報
対北陸圏（岡山県・広島）の初期画面

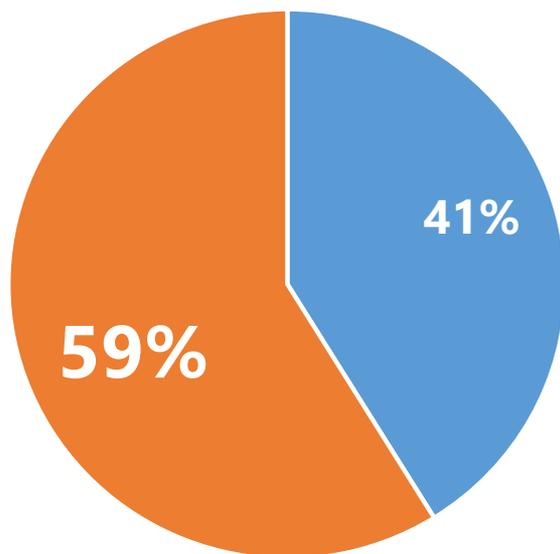
- レーダー画像（中国地方）
- 大雨危険度（中国地方）
- 大雨危険度（中国地方）
- 大雨危険度（中国地方）
- 10分降水量（中国地方）



Ⅲ.タイムラインの効果的な運用に向けた取組について

②ウェビナーの参加状況

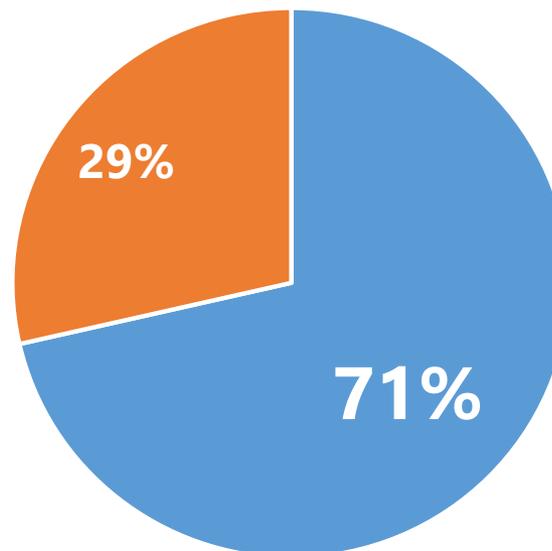
Ⅲ-2.ウェビナーに
参加したか



(N=17)

■ 参加した
■ 参加しなかった

参加した場合、
役立ったか



(N=7)

■ 役立った
■ 役立たなかった

- ウェビナーに参加した機関は約4割。
- 参加した機関の約7割が役立ったと感じている。

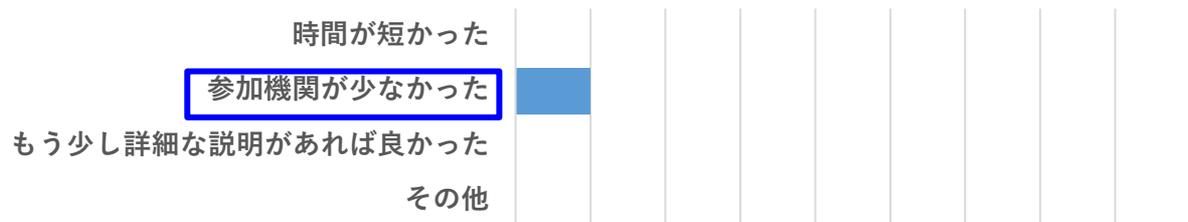
Ⅲ.タイムラインの効果的な運用に向けた取組について

②ウェビナーの参加状況

【役立った理由】 N=9



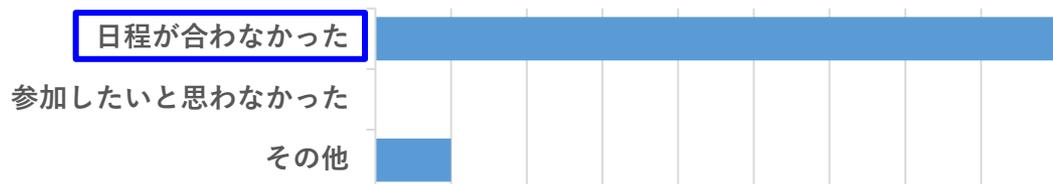
【役立たなかった理由】 N=1



役立たなかったその他の理由

- ✓ 当機関はウェビナー形式での参加ができず、**直接足を運んで参加したため**

【参加しなかった理由】 N=10



参加しなかったその他の理由

- ✓ Web形式（Teams）が利用不可のため

- 役立った理由には、**タイムラインへの理解やWebでの参加しやすさ**が挙げられた。
- **参加機関が多ければ良かった、日程やWeb会議システムの都合**で活用できなかったとの意見もあり。

Ⅲ.タイムラインの効果的な運用に向けた取組について 情報提供システム

- 情報提供システムは、日野川に関する情報を出水時にスムーズに入手できることを目的としています。

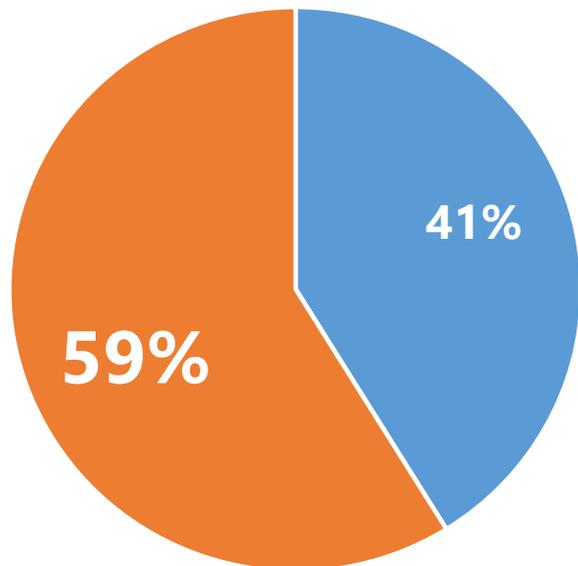


IV.日野川水害タイムライン情報提供システムについて

①情報提供システムの利用状況

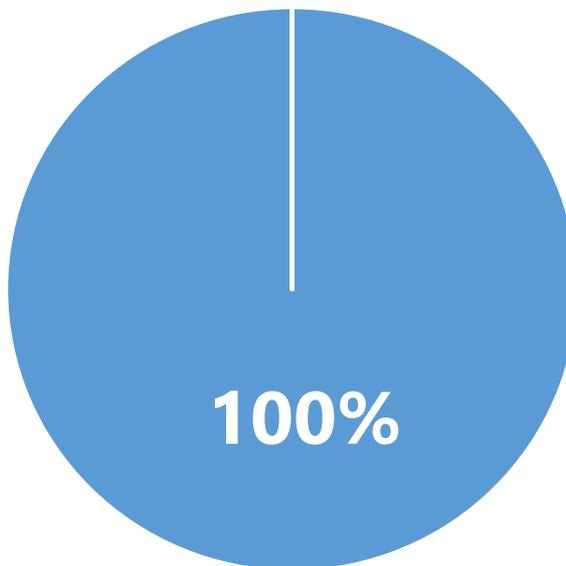
IV-1.情報提供システムを 利用したか

利用した場合、 役立ったか



(N=17)

- 利用した
- 利用しなかった



(N=7)

- 役立った
- 役立たなかった

区分	回答
良かった点	<ul style="list-style-type: none">✓ 詳細な雨雲の動きや河川の状況が把握できて、対応する上で参考になった。✓ 特に水位情報の確認に役立っている。✓ マルチ画面や関係機関のホームページを確認し、情報収集に役立てた。
利用しなかった理由	<ul style="list-style-type: none">✓ 今年度のケースについては、利用するような状況ではなかったため。✓ 具体的な対応の必要性がなかったため。✓ 自社の雨量計システムなどを見ているため✓ 使用方法があまり理解できていなかった。

- 台風10号による出水において、約4割が情報提供システムを活用。
- 出水対応の準備段階の対応（タイムラインレベル準備・注意）が大半のため利用しなかった機関もいるが、利用した**全ての機関が役立ったと回答**。

Ⅲ.タイムラインの効果的な運用に向けた取組について 情報提供システムマルチ画面

- 複数の防災・気象情報を一度に同時に監視、状況に応じて表示させる情報を選択。
- 台風発生時等、様々な情報を手に入れたい時や、具体的にどの情報を見ればよいかわからないときに活用できます。

①現在のタイムラインレベルに応じたボタンをクリック

②各画面に表示したい情報を個別にカスタマイズ可能

③クリックして各HPの該当ページを別ウィンドウ表示

④表示したい情報を選択

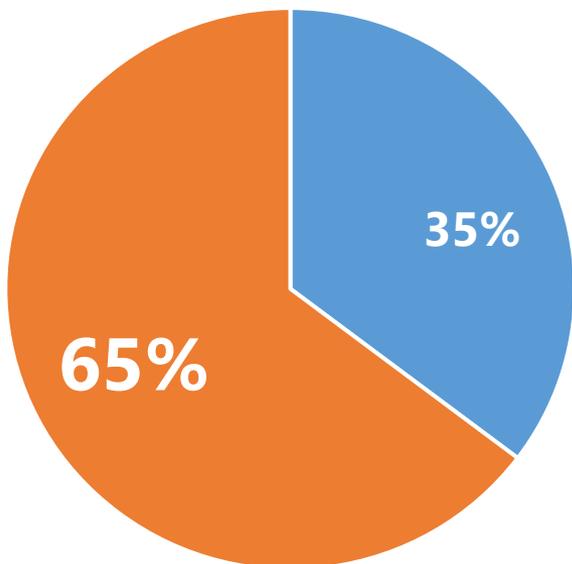
⑤河川を選択

⑥観測所を選択

IV.日野川水害タイムライン情報提供システムについて

②マルチ画面の活用状況

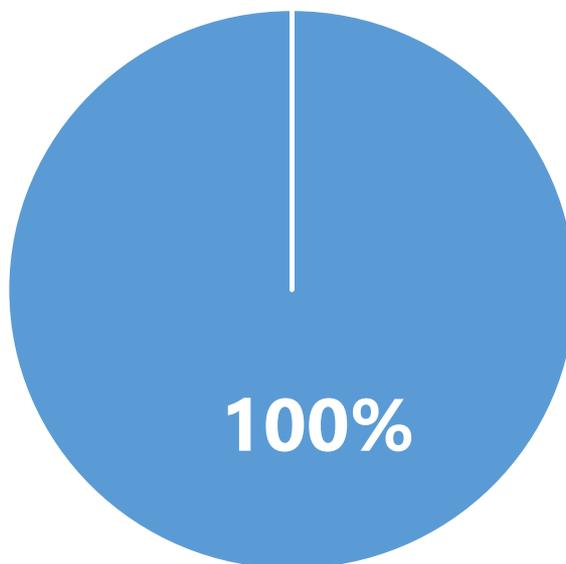
IV-2.マルチ画面を 利用したか



(N=17)

- 利用した
- 利用しなかった

利用した場合、 役立ったか



(N=7)

- 役立った
- 役立たなかった

区分	回答
良かった点	<ul style="list-style-type: none">✓ 複数の画面を一度に確認することができたので、効率的に情報収集を行うことができた。✓ 改善点の説明があり、都度、触れる機会があった。レベルごとにマルチ画面をカスタマイズできる点は、有益。
利用しなかった理由	<ul style="list-style-type: none">✓ 自社の雨量計システムなどを見ているため。✓ 施設の性質上、通常はマルチ画面を使用するほどのリアルタイム情報を追ってはいない。✓ 同じようなコンテンツが他のHPにもあるので、どれを活用するか迷うと思われる。✓ 使用方法があまり理解できていなかった。

■ 約4割の機関がマルチ画面を利用し、利用した全ての機関が役立ったと感じている。

Ⅲ.タイムラインの効果的な運用に向けた取組について 情報提供システムお気に入り機能

- 各担当者によっては、5画面構成では見づらい場合や、必要な情報が異なる場合があるため、**各自の必要な情報をブラウザ上に登録**できます。

日野川
水害タイムライン情報提供システム

タイムラインレベル
準備・注意
1~2
3~5
お気に入り
お気に入り1
お気に入り2
お気に入り3
お気に入り設定

「お気に入り1~3」にあらかじめ登録

出水時に必要な情報をボタン操作一つで呼び出すことができる

リアルタイム情報

マルチ画面 | 川の水位情報 | HPリンク集

トップページへ戻る
日野川水害タイムライン検討会

気象庁：台風情報 | 気象庁：天気図 | 気象庁：レーダー雨量

2022年10月19日09時
全ての台風 (台風経路図)
中心線 表示 非表示
日時表示 表示 非表示

天気図
表示領域: 日本周辺カラー, 日本周辺白黒, アジア太平洋カラー, アジア太平洋域白黒
表示時刻: 2022年10月19日06時の実況 | 最新の実況へ

ナウキャスト (雨雲の動き)
10:35
-3時間 -2時間 -1時間 10:35 +1時間

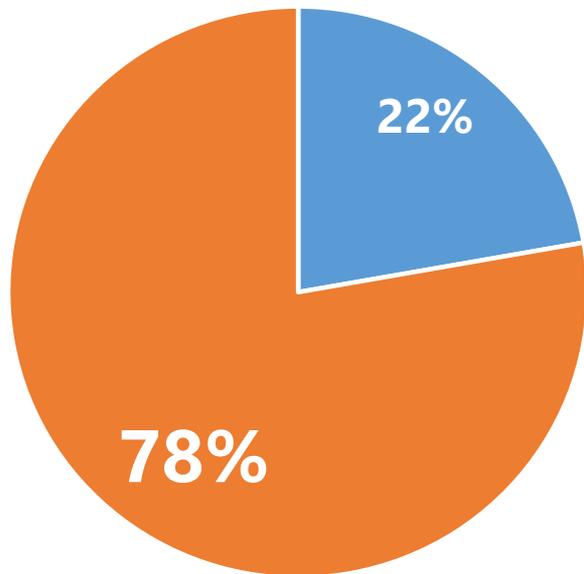
雨雲の動き 2022年10月19日10時35分
広島 大阪
地図出典: 地理院タイル (加工して利用) © Japan Meteorological Agency 2020

気象庁：キキクル (洪水害)
10:20
08:00 09:00 10:00
洪水害 2022年10月19日10時20分
地図出典: 地理院タイル (加工して利用) © Japan Meteorological Agency 2020

IV.日野川水害タイムライン情報提供システムについて

③お気に入り機能の利用状況

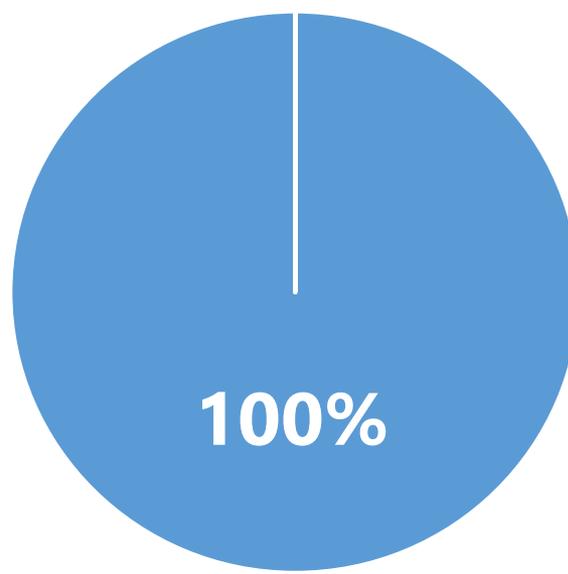
IV-3.「お気に入り」機能を利用したことがあるか



(N=9)

- 利用した
- 利用しなかった

利用した場合、役立ったか



(N=2)

- 役立った
- 役立たなかった

区分	回答
良かった点	✓ 自身で画面が見やすい状態にすることができる

- 約2割の機関がお気に入り機能を利用。
- 利用した全ての機関が役立ったと感じている。

Ⅲ.タイムラインの効果的な運用に向けた取組について 情報提供システムリンク集

- 防災行動に必要な情報に迅速にたどり着けるよう、**既存情報を集約してカテゴリー表示**しています。

見たい情報を選択してリンクをクリックすると、各サイトが別ウィンドウで表示

カテゴリー区分して集約

日野川 水害タイムライン情報提供システム

現在 タイムラインは発動していません。▼

マルチ画面 | 川の水位情報 | HPリンク集

トップページへ戻る | 日野川水害タイムライン検討会

見たい情報を選択してリンクをクリックすると、各サイトが別ウィンドウで表示

カテゴリー区分して集約

タイムラインについて掲載

日野川水害タイムライン (PDF) をクリックしてダウンロード

ダムについて

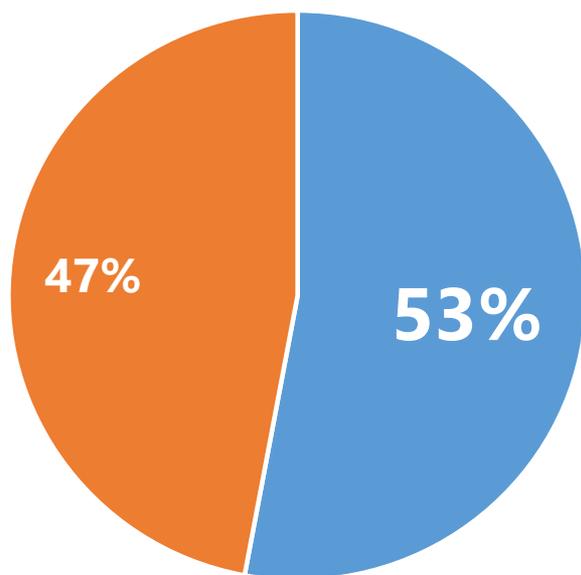
水害リスクラインについて

道路について

IV.日野川水害タイムライン情報提供システムについて

④リンク集の活用状況

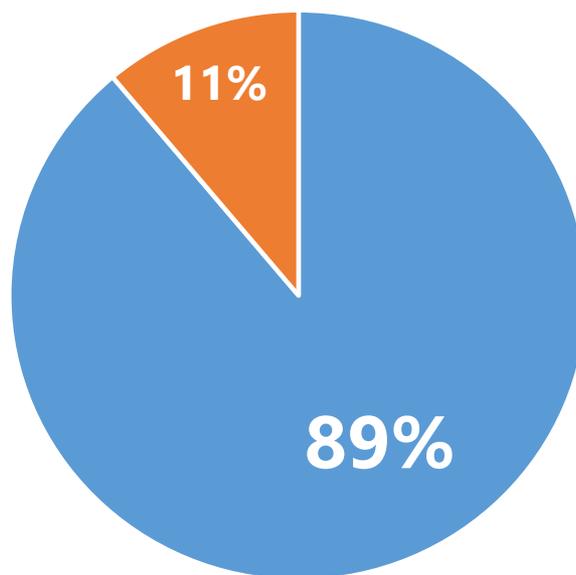
IV-4. リンク集を利用したことがあるか



(N=17)

■ 利用した
■ 利用しなかった

利用した場合、役立ったか



(N=9)

■ 役立った
■ 役立たなかった

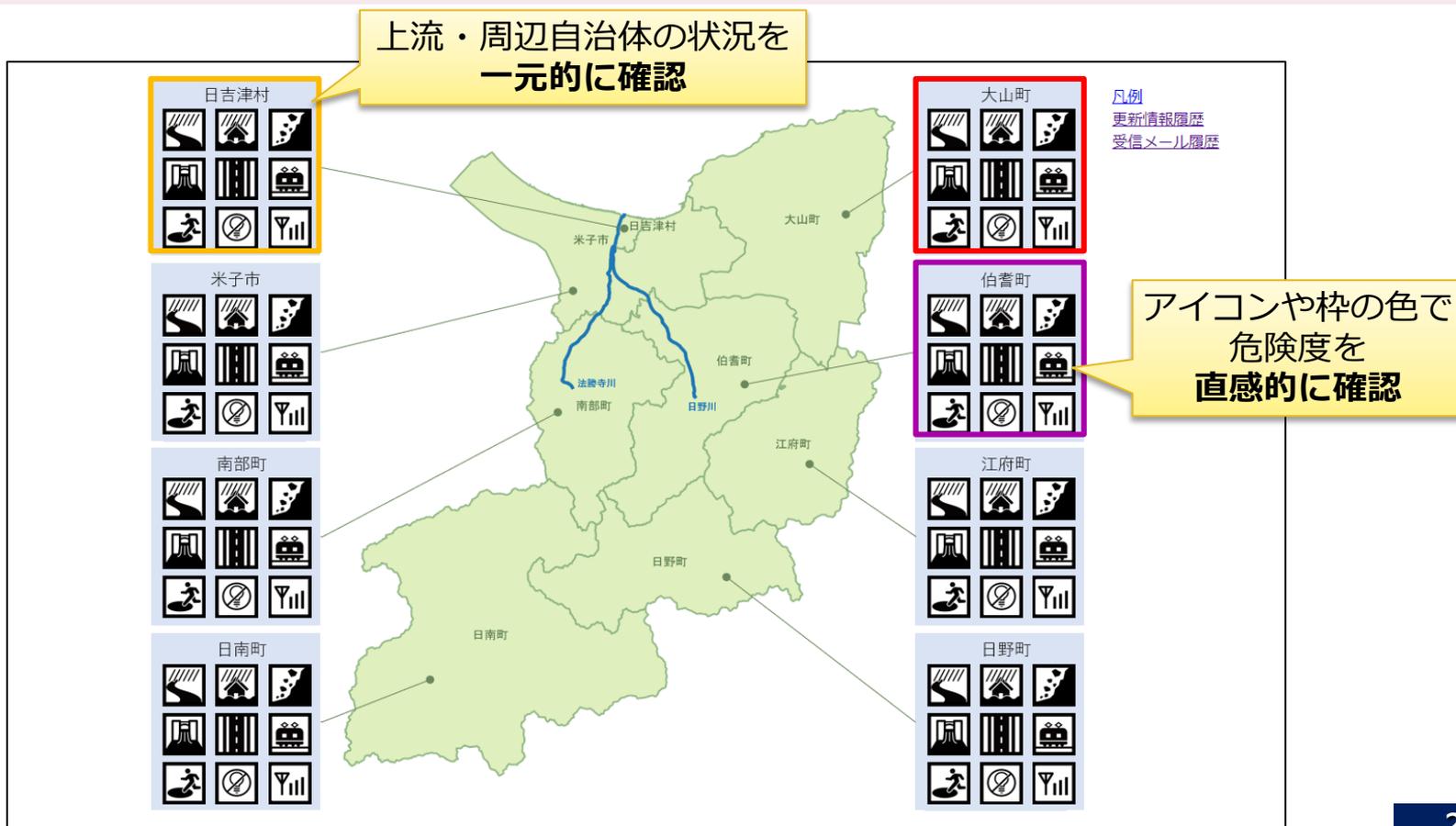
区分	理由
役立った理由	<ul style="list-style-type: none">✓ 河川の状況をリアルタイムに知ることができた。✓ 気象・河川情報はもちろん、交通に関する情報も含まれており、多岐にわたる情報を一元的に活用することができる
役立たなかった理由	<ul style="list-style-type: none">✓ 使用方法があまり理解できていなかった。✓ 特に必要が生じていなかった。✓ たくさんリンクがありすべてを網羅しているように感じたが、利用する場合は、各自でブックマークしている管理画面から利用した。

■ 約5割の機関がリンク集を利用し、利用した機関の約9割が役立ったと感じている。

Ⅲ.タイムラインの効果的な運用に向けた取組について

情報提供システム流域一元画面

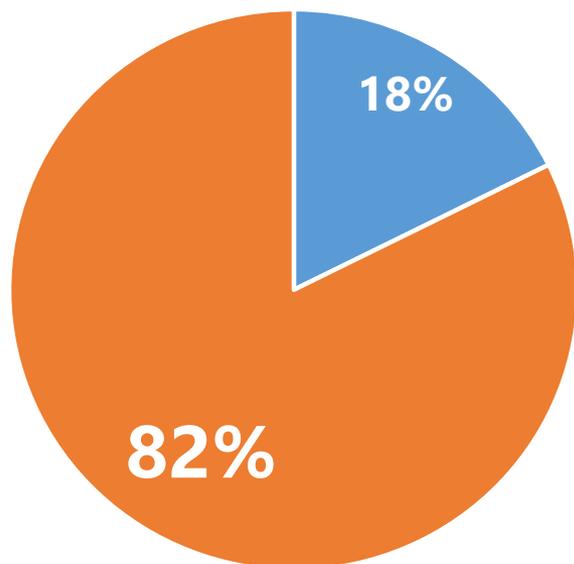
- R6年度の台風期に、情報提供システムの新しい機能として「流域一元画面」を試行運用しました。
- 流域一元画面では、**鳥取県のトリピーメールから判読した情報**を元に、各自治体の危険度が**リアルタイムで自動的に更新**されます。流域全体の情報を一元的に表示することで、**上流域も含めて俯瞰的に状況を把握**することができます。



IV.日野川水害タイムライン情報提供システムについて

⑤流域一元画面の活用状況

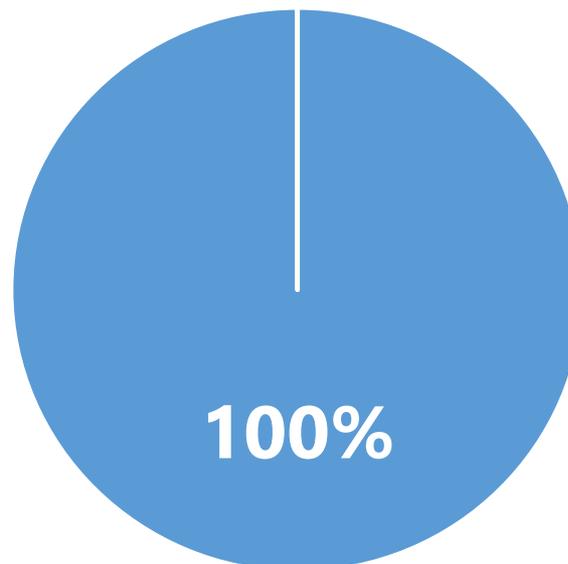
IV-5.流域一元画面を
利用したか



(N=17)

■ 利用した
■ 利用しなかった

利用した場合、
役立ったか



(N=3)

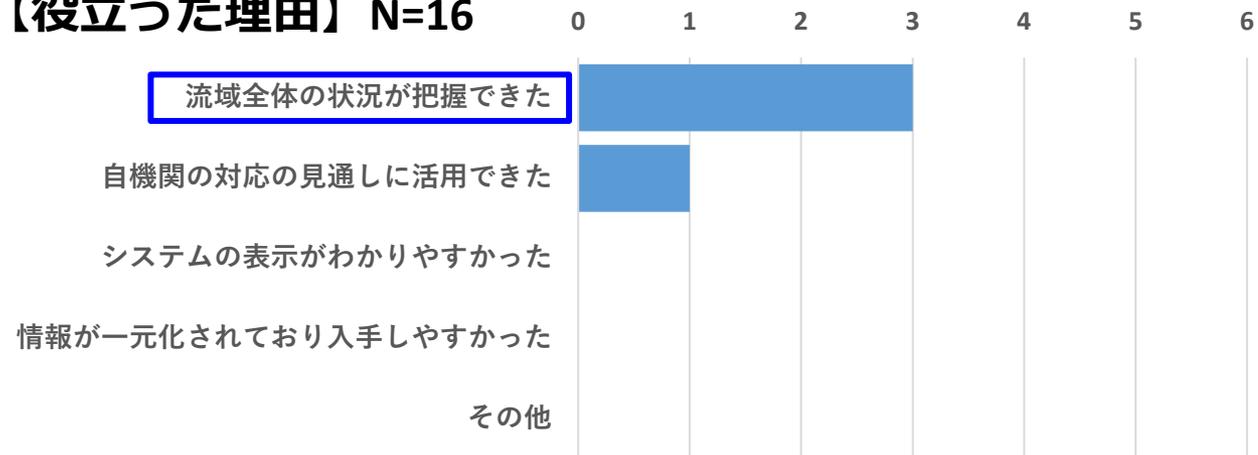
■ 役立った
■ 役立たなかった

■ 約2割の機関が流域一元画面を利用し、利用した全ての機関が役立ったと感じている。

Ⅲ.タイムラインの効果的な運用に向けた取組について

⑤流域一元画面の活用状況

【役立つ理由】 N=16



【利用しなかった理由】 N=7



- 役立つ理由には、**流域全体の状況が把握できた**ことが多く挙げられた。
- 利用しなかった理由は、**試行運用のことを知らなかった、使い方がわからなかった**との回答。

V.自由意見

区分	自由意見
タイムライン	✓タイムライン上において能動的な立場ではないが、法勝寺川沿いの施設として 職員の危機意識共有に有益 。
	✓タイムライン自体は有効だと感じるが、 会議の数が多く、対応できない場合 がある。
情報提供システム	✓ 効率的に情報収集できるシステム が構築されており、非常に便利で使いやすかった。 ✓ 県の場合は、県が利用しているシステムを使って確認 をしている。 国のシステムは参考 として見させてもらっているところ。

(3) アンケート結果まとめ

設問	アンケート結果まとめ	結果を踏まえた対応
今年度における出水対応	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 台風10号では約5割の機関が情報収集段階までの対応であり、多くの機関で実対応が必要な状況にはならなかった。 ✓ 出水対応の課題として、情報の錯綜への対応が挙げられた。 	
タイムライン活用状況・改善要望	<p><メール></p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 多くの機関がタイムラインのメールを確認し、役立ったと感じている。 ✓ 一方で、情報が多くメールが埋もれるとの意見もあり。 <p><タイムライン></p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 約7割の機関が活用。昨年度（約6割）と比較して多くの機関が活用。 ✓ 確認しなかった機関はタイムライン以外の方法や自機関のマニュアルを用いて対応。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 出水期後（11/1～11/3）の大雨における出水対応状況やタイムライン活用状況について意見交換を実施。 ✓ 出水時における情報の整理で工夫している点を意見交換。
タイムラインの効果的な運用に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 危機感共有定例会、ウェビナーには約5割の機関が参加。 ✓ 参加した機関の約7～8割が役立ったと回答。 ✓ その一方で、日程やWeb会議システムの都合により参加できなかった、役に立たなかったとの回答もあり。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 令和7年度以降、より多くの機関が参加しやすく有効な取組に改善するための意見交換を実施。
情報提供システム	<p><マルチ画面・お気に入り機能・リンク集></p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 利用した機関は約4割に留まる。利用した全ての機関が役立ったと回答。 ✓ 一方で、使い方がわからなかったとの意見もあり。 <p><流域一元画面></p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 試行運用のことを知らなかった、使い方がわからなかったとの回答あり。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 令和7年度の出水期前検討会において、情報共有システム各機能の使い方を確認。 ✓ 台風10号における流域一元画面の運用状況を踏まえて、令和7年度以降の本運用について意見交換。

4. タイムラインの改善に向けた意見交換

意見交換の内容

- 11月1日～11月3日の大雨や事前アンケートの結果を踏まえて、**今年度実施した取り組みを次年度に向けて改善**するための意見交換を行います。

テ ー マ

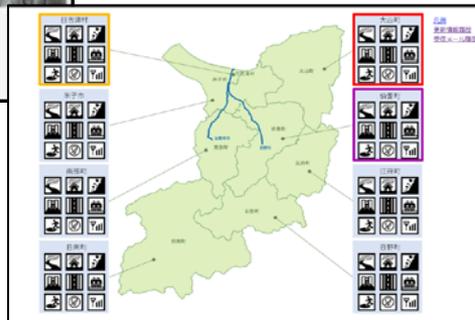
- (1) 11月1日～11月3日の大雨について
- (2) 情報統制に関する工夫
- (3) 危機感共有定例会、ウェビナーの有効活用に向けて
- (4) 流域一元画面の運用について

進 む 方

① R6年度の出水状況や取組状況の振り返り



危機感共有定例会、ウェビナー開催状況



流域一元画面

② 事前アンケートを踏まえた改善方針について意見交換



R7年度の取り組みに反映

(1) 11月1日～11月3日の大雨について

- 今年度発生した11月1日～11月3日の大雨は、日野川水害タイムラインの運用開始（H30年度～）以降、**11月にタイムラインを発動した初めての出水**となりました。
- また、**鹿児島県では大雨特別警報が発表**される状況となり、大雨特別警報の運用開始（H25年度～）以降、**11月の大雨特別警報の発表は初**となりました。

【警戒レベル5相当】

報道発表資料
令和6年11月9日
気象庁

鹿児島県与論町に 大雨特別警報発表

- これまでに経験したことのないような大雨
- 災害がすでに発生している可能性が極めて高く、**警戒レベル5に相当**
- 命の危険が迫っているため**直ちに身の安全を確保**

警戒レベル	取るべき行動
5	命の危険 直ちに安全確保！
～＜警戒レベル4までに必ず避難！＞～	
4	危険な場所から 全員避難
3	危険な場所から 高齢者等は避難
2	自らの避難行動 を確認
1	災害への心構え を高める

1

出典：記者発表資料 鹿児島県に大雨特別警報発表（気象庁HP）

意見交換の内容

- ✓ 11月1日～11月3日の大雨における対応状況（情報収集、体制の確立、実対応）
- ✓ タイムラインやポータルサイトの利用状況
- ✓ 出水期以外の出水対応で困ったこと・苦勞したこと

気候変動の影響により今までの常識が
通用しなくなっています。
（日野川の出水期：6月20日～10月20日）

(2) 情報統制に関する工夫

① アンケートで挙げられた課題

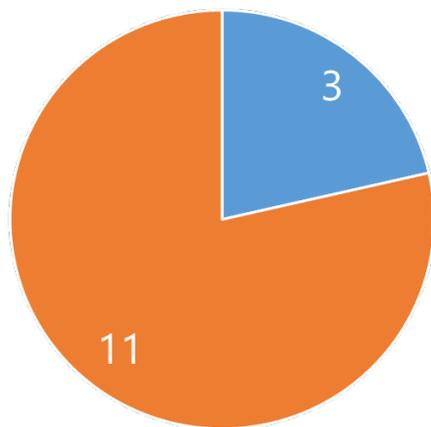
■ 事前アンケートでは、出水対応時の情報統制が課題として挙げられた。

事前アンケートで頂いた意見

分類	アンケート結果まとめ	結果を踏まえた対応方針
発動時のメールが役立たなかった	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 数多くの情報がありすぎて、逆に情報が埋もれてしまう状況が生じがち。スムーズに整理できる方法を模索している。 ✓ タイムライン発動時のメールを受信しているが、その情報が埋もれてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ R4年度振り返り検討会で実施した情報統制に関する意見交換結果を共有。 ✓ メールで受信した情報の整理について工夫していることを意見交換。

R4年度振り返り検討会 意見交換結果

Q1: 情報統制(情報収集・整理、取捨選択)において、工夫していることはありますか？



■ 工夫している ■ 工夫していない

工夫している内容
警察機関、市町村と連携して各種情報を収集している。
市町村、関係各機関との連密な情報共有等により、住民の避難状況や被害状況等、収集している。
「情報班」という各所からの情報を吸い上げ、共有を行う箇所を立ち上げ、事業活動に必要な情報の取捨選択を行っている。

(2) 情報統制に関する工夫

② タイムラインにおけるメール発信の工夫点

- タイムラインのメーリングリストでは、大雨の際には多くのメールが届くため、**メールの件名から概況を把握できるように工夫**しています。

タイムライン運用の手引き

運用の手引きにメーリングリストの件名を統一することを記載

メーリングリストに発信する内容の件名は以下のように統一いたします。

タイミング	発信者	件名
発動時	日野川河川事務所	【重要】日野川 TL 発動
移行時(準備~注意)		【移行】日野川 TL レベル■
移行時(1~5)		【移行】日野川 TL レベル■
全体解除時		【全体解除】日野川 TL

台風10号におけるメーリングリスト発信例

実際のタイムライン発動時にも、件名にタイムラインレベルを記載することでレベル感を共有

【移行】日野川 TL レベル2	木村 陽祐	2024-08-31 03:29
【継続】日野川 TL レベル注意	川村 欣己	2024-08-30 16:42
【継続】日野川 TL レベル注意	川村 欣己	2024-08-29 17:08
【移行】日野川 TL レベル注意	川村 欣己	2024-08-28 17:10
【継続】【重要】日野川 TL レベル準備	川村 欣己	2024-08-27 10:11
【継続】【重要】日野川 TL レベル準備	川村 欣己	2024-08-26 10:04
【重要】日野川 TL 発動 (レベル準備)	川村 欣己	2024-08-23 14:16

意見交換の内容

- ✓ メールで受信した情報の確認について工夫していること
- ✓ 発信する側で工夫していること

(3) 危機感共有定例会、ウェビナーの有効活用に向けて

① R6年度の実施概要

- R6年度からの新しい取り組みとして、**顔の見える関係作りや出水期中の危機感の共有**を目的とした危機感共有定例会を台風期（8月～10月）の各月に開催しました。
- また、R5年度からの継続的な取り組みとして、**タイムラインの活用方法や情報提供システムの操作方法**に関するウェビナーを8月の3日間に開催しました。

危機感共有定例会

ウェビナー

全3回（8月～10月の各月に1回）開催し、合計16機関が参加しました。

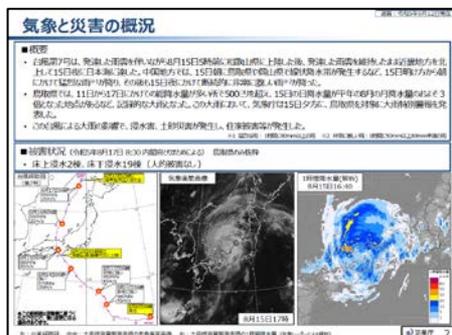
全3回（8/6～8/8）開催し、合計10機関が参加しました。

タイムラインの習熟度毎に3コースに分かれて実施

各機関より以下の内容を共有しました。

- ✓ **鳥取地方気象台**：今後の天候の見通し（3か月予報・1か月予報に基づく大雨や台風の可能性等）
- ✓ **日野川河川事務所**：過去の当該月に日野川で発生した水害時の状況（台風経路や雨量、被害状況等）
- ✓ **関係機関**：タイムラインに関する新たな取組（BCPとタイムラインの整合等）

コース	内容	主な対象者
基礎	<ul style="list-style-type: none"> ✓タイムラインの目的・効果・内容 ✓想定するハザード、被災シナリオ ✓タイムラインにおける各機関の役割 	新任担当者
活用	<ul style="list-style-type: none"> ✓タイムライン運用方法 ✓タイムライン活用例の解説 	タイムライン未活用者
実践	<ul style="list-style-type: none"> ✓タイムライン情報提供システム操作方法 	システム未活用者



R5年8月15日に鳥取県に大雨特別警報を発生した事例（鳥取地方気象台）



過去8月に日野川で発生した水害時の状況（日野川河川事務所）



タイムライン解説動画を用いて説明



情報提供システムに関する説明

(3) 危機感共有定例会、ウェビナーの有効活用に向けて

② 事前アンケート結果を踏まえた今後の運用

- 事前アンケートでは、約5割の機関が危機感共有定例会、ウェビナーに参加したと回答。

事前アンケートで頂いた意見

分類	アンケート結果まとめ	結果を踏まえた対応方針
参加した機関 (役立った)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 約7～8割の機関が役立ったと回答。 ✓ 「出水に対する危機感を持つことができた」、「気象の今後の見通しを入手できた」との意見が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 取組の有用性が確認できたため、R7年度以降も継続して運用する。
参加した機関 (役立たなかった)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「全ての参加機関が顔出しして意見交換できれば良かった」、「参加機関が少なかった」との意見。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 顔の見える関係を構築するために、Web会議での顔出しを必須にする。 ✓ 意見交換は今年度も機会は設けたが意見が出なかったため、意見交換しやすいようにテーマを設定して事前に連絡する。
参加しなかった機関	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「日程が合わなかった」との回答が多い。 ✓ 「Web会議システム (Teams) が利用できない」との意見。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「会議が多く対応できない」との意見も踏まえて、会議の時間を短く (30分～1時間以内) することで参加しやすくする。 ✓ また、出来るだけ多くの機関が参加できるよう、早めに日程を連絡する。または、アンケートで参加可能な日程を伺った上で日程を決定する。 ✓ Web会議システムを「Webex」に変更する。

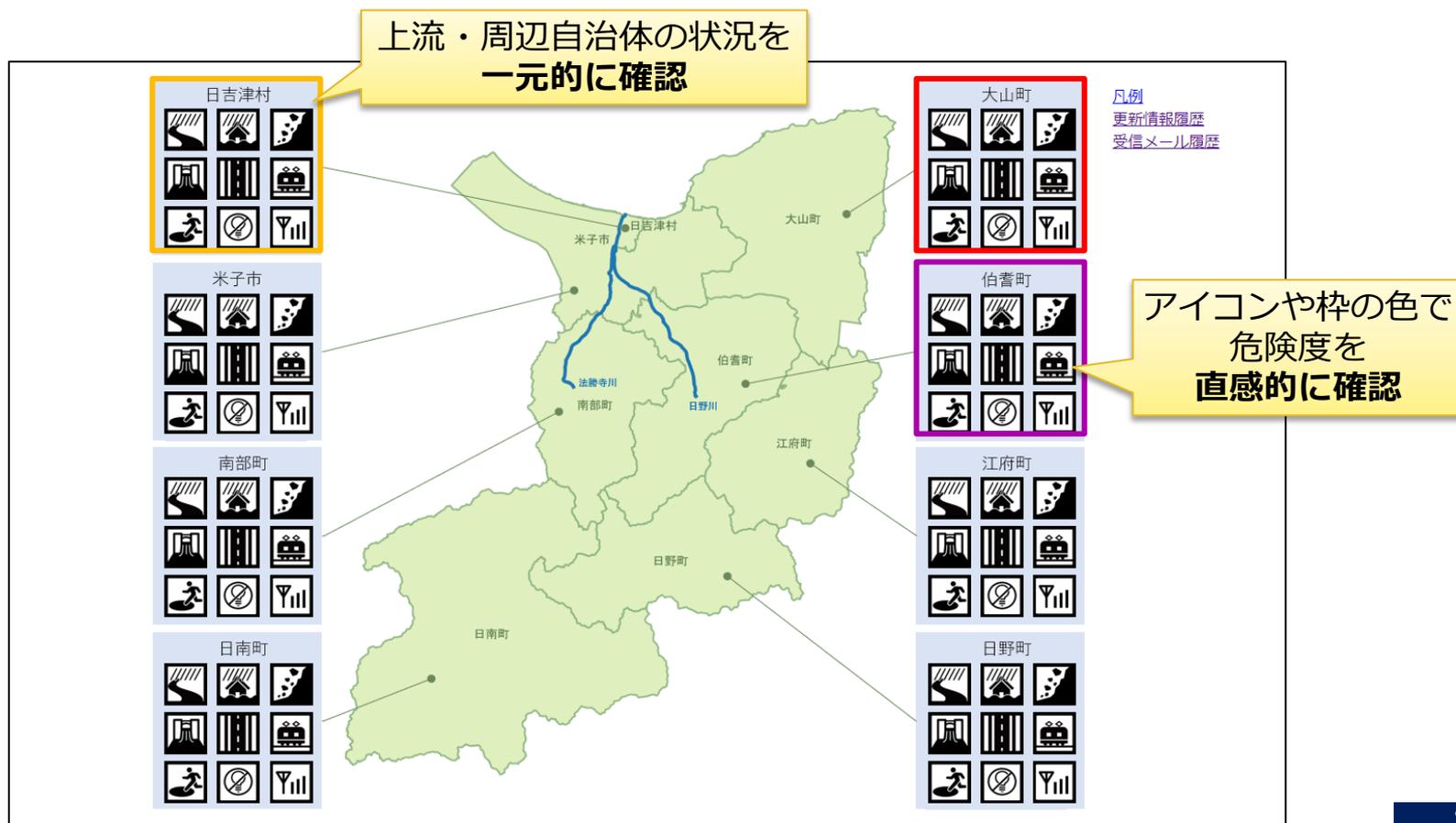
意見交換の内容

- ✓ R7年度以降の継続実施について
- ✓ 運用方法の改善に関する要望

(4) 流域一元画面の運用について

① R6年度の実施概要

- R6年度の台風期に、情報提供システムの新しい機能として「流域一元画面」を試行運用しました。
- 流域一元画面では、**鳥取県のトリピーメールから判読した情報**を元に、各自治体の危険度が**リアルタイムで自動的に更新**されます。流域全体の情報を一元的に表示することで、**上流域も含めて俯瞰的に状況を把握**することができます。



(4) 流域一元画面の運用について 危険度の表示方法

- 流域一元画面は、各自治体の危険度がリアルタイムで表示されます。
- 各情報の危険度は「あんしんトリピーメール」の情報を判読して自動更新されます。

アイコン	トリピーメール情報
洪水 	河川洪水予報
大雨 	気象注警報
土砂災害 	土砂災害警戒情報
ダム 	緊急放流情報
道路 	道路通行規制情報、 緊急道路情報
鉄道 	列車運行情報
避難場所 	指定避難所の開設
停電 	停電情報
通信 	ライフラインの状況 (NTT西日本固定電話)

■ 危険度を表示する仕組み

トリピーメールから「対象の自治体名」、
「情報の種別」と「危険度」を判読し、
危険度を枠色で表示（警戒レベルと同じ配色）



自治体の外枠は、レベル3以降は
避情情報（警戒レベル）と同じ色で表示

(4) 流域一元画面の運用について 操作方法

- 流域一元画面では危険度が自動的に表示されるため、危険度の把握には**特に操作は必要ありません**。
- 危険度の把握以外には、**関連情報へのリンクや、凡例の確認、更新履歴の確認**ができます。

日野川
水害タイムライン情報提供システム

現在

発動して
いません

<タイムラインレベル>
タイムラインは発動していません。▼

流域一元画面

マルチ画面

川の水位情報
(外部サイト)

HPリンク集

トップページへ戻る
日野川水害タイムライン検討会

アイコンをクリックすると
関連情報のHPにリンク

日吉津村

米子市

南部町

日南町

大山町

伯耆町

江府町

日野町

凡例
更新情報履歴
受信メール履歴

アイコンの凡例 (PDF) や
更新履歴・トリピーメールの
受信履歴 (CSV) を確認

(4) 流域一元画面の運用について 危険度の凡例、リンク先

- 危険度の凡例は、警戒レベルに対応した防災気象情報と整合を図っています。
 - また、道路や鉄道等の情報は、鳥取県内において情報が発表されるとアイコンが点滅します。
- ※情報の発表「あり」「なし」の2段階で判定するため。また、トリピーメールから市町村単位の絞り込みができないため。

枠、アイコン		レベル準備・ 注意、レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
		グレー枠	黄色枠	赤枠	紫枠	黒枠
各市町村枠：	枠判定	タイムライン発動	洪水注意報	警戒レベル3高齢者等避難	警戒レベル4避難指示	警戒レベル5緊急安全確保・ 大雨特別警報
	リンク先	各市町村HPのトップページにリンク				
洪水 	枠判定	判定なし	氾濫注意水位の超過	避難判断水位の超過	氾濫危険水位の超過	堤防の決壊
	リンク先	キキクル（危険度分布）（洪水害）にリンク				
大雨 	枠判定	判定なし	大雨注意報（浸水害）	大雨警報（浸水害）	—	大雨特別警報（浸水害）
	リンク先	キキクル（危険度分布）（浸水害）にリンク				
土砂災害 	枠判定	判定なし	大雨注意報（土砂災害）	大雨警報（土砂災害）	土砂災害警戒情報	大雨特別警報（土砂災害）
	リンク先	キキクル（危険度分布）（土砂災害）にリンク				
ダム 	枠判定	判定なし	—	—	緊急放流情報	—
	リンク先	川の防災情報のダムのページにリンク				
道路 	リンク先	とっとりWebマップにリンク				
鉄道 	リンク先	各市町村で運行されている鉄道・バス事業者のホームページへリンク				
避難場所 	リンク先	各市町村HPの緊急情報のページへリンク				
停電情報 	リンク先	中国電力ネットワークHPの停電情報のページにリンク				
通信 	リンク先	NTT西日本鳥取支店のHPにリンク				

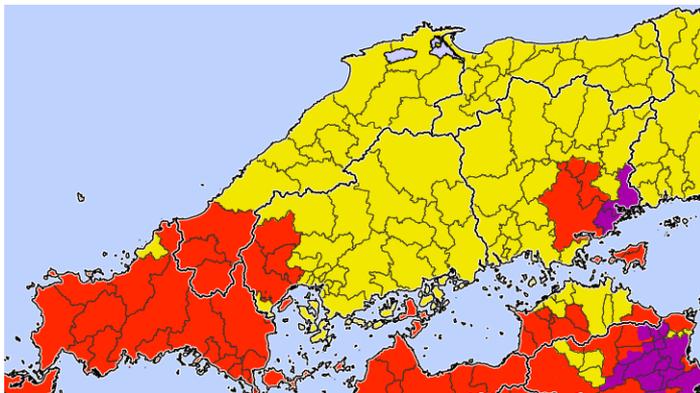
(4) 流域一元画面の運用について

① R6年度の実施概要 (台風第10号当時の表示状況)

- 8月30日の15時時点において、大雨注意報の発令状況 (県内全市町村に発令) や公共交通機関の運休状況 (トリピーメールでいずれかの地域で発生) が確認できる。

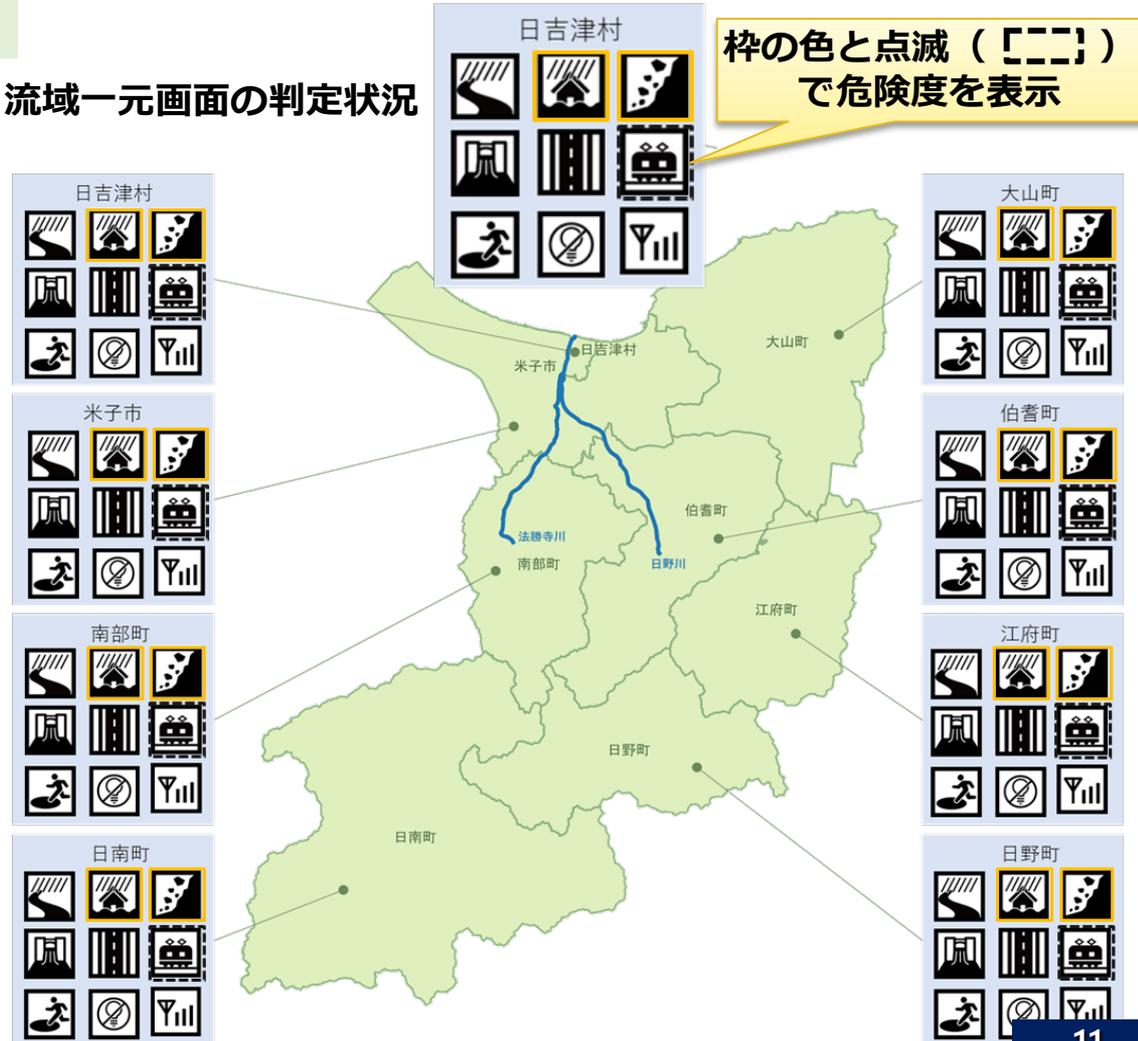
8/30 (金) 15時 : タイムラインレベル注意

当時の気象状況



出典：過去の主な災害時の情報発表状況 (気象庁HP)

流域一元画面の判定状況



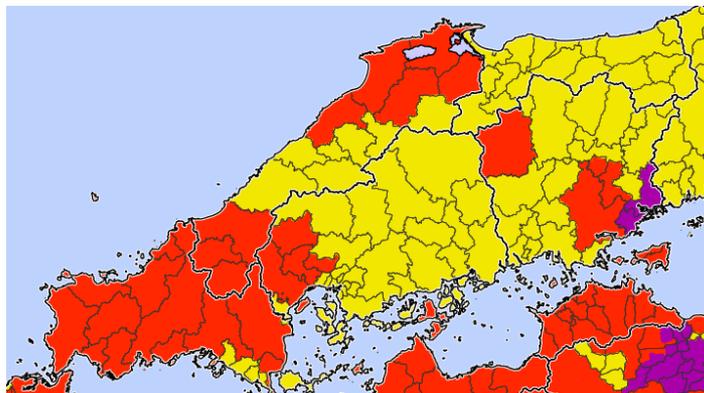
(4) 流域一元画面の運用について

① R6年度の実施概要 (台風第10号当時の表示状況)

- 8月30日の21時時点において、道路の通行止めや停電情報 (市町村単位) を表示。また、日南町で洪水注意報が発令され、上流から危険度が高くなる様子がわかる。

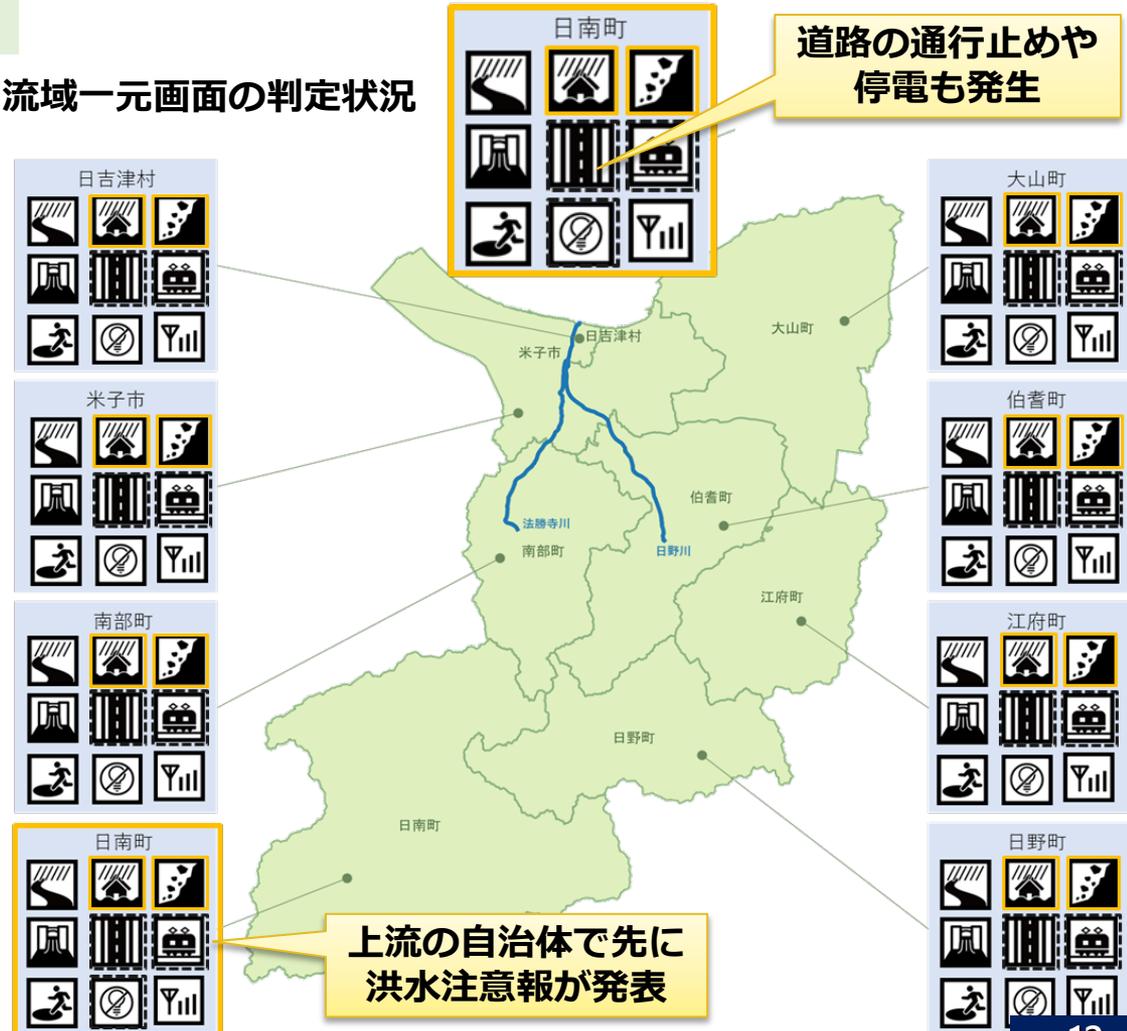
8/30 (金) 21時 : タイムラインレベル注意

当時の気象状況



出典 : 過去の主な災害時の情報発表状況 (気象庁HP)

流域一元画面の判定状況



(4) 流域一元画面の運用について

② 事前アンケート結果を踏まえた今後の運用

- 事前アンケートでは、約2割の機関が流域一元画面を利用し、全ての機関が役立ったと回答。

事前アンケートで頂いた意見

分類	アンケート結果まとめ	結果を踏まえた対応方針
利用した機関 (役立った)	✓ 「流域全体の状況が把握できた」、「自機関の対応の見通しに活用できた」との意見。	✓ 台風10号における運用状況を踏まえて、 R7年度以降の本運用 について意見交換を実施。
利用しなかった機関	✓ 「試行運用のことを知らなかった」、「使い方がわからなかった」との意見。	

意見交換の内容

- ✓ 台風10号における運用状況を踏まえた感想・改善点
- ✓ R7年度以降の本運用について

5. 連絡事項

(1) タイムライン詳細版の意見照会

- R7年度の出水期に向けて、タイムライン詳細版の確認・修正をお願いします。
- 修正がある場合は下記の間合せ・提出先まで変更記録シートの提出をお願いします。
(期限：R7年2月末)

確認・修正していただきたい内容

- 防災行動項目の内容と実施のタイミングについて、自機関の防災マニュアルとの整合等。

国土交通省 中国地方整備局
日野川河川事務所

日野川水害タイムライン



タイムライン詳細版の最新版、変更記録シートは、
日野川水害タイムライン検討会ホームページ
(<https://www.cgr.mlit.go.jp/hinogawa/timeline/index.html>)
よりダウンロードをお願いします。

【意見照会に関する間合せ・提出先】

〒689-3537 鳥取県 米子市 古豊千 678
国土交通省 中国地方整備局 日野川河川事務所
流域治水課

木村 陽祐 宛

(1) タイムライン詳細版の意見照会

- タイムライン変更記録シートには、以下に示す記入例の通り、修正する防災行動項目の**タイムラインレベル**、**項目No**、**修正内容を記入**してください。

<変更記録シートの記入例>

タイムラインレベル	項目No	表現の修正(修正後)	役割の修正		タイミングの修正	
			変更前	変更後	タイムラインレベル (変更後)	移動場所
例1:表現・役割の修正の場合 レベル3	5	関係機関へ水位情報伝達	○	◎		
例2:タイミングの修正の場合 レベル1	35	水防団の出動			2	No47と48の間

<凡例>

- ◎：主体的な行動、情報の発信
- ：行動の支援・協働、情報収集、伝達

**R7年度の出水期に向けて、
ご協力の程よろしくお願いします。**

(2) 参画機関とメーリングリスト登録アドレスの確認

- 日野川水害タイムラインへの**参画機関の追加**や、**メーリングリストに登録しているアドレスの変更・追加**がある場合は、日野川河川事務所に連絡をお願いします。
 (メーリングリストには、夜間、休日に受信できるアドレスの登録と、異動時の担当者・メールアドレス変更をお願いします。)

日野川水害タイムライン検討会 参画機関

組織			組織			組織		
米子市	防災安全課		鳥取県	米子県土整備局	維持管理課	通信インフラ	NTT西日本(株)	鳥取支店
	道路整備課			警察本部	警備第二課		NTTフイルドテクノ	
	長寿社会課			米子警察署	警備課	報道機関	NHK	米子支局
	学校教育課			黒坂警察署	警備課		日本海テレビジョン放送(株)	報道制作局
	水道局	計画課	防衛省	陸上自衛隊	第8普通科連隊		(株)山陰放送	報道部
		気象庁	鳥取地方気象台		山陰中央テレビジョン放送(株)		報道部	
伯耆町	総務課		福祉施設	なんぶ幸朋苑		(株)中海テレビ放送	報道部	
	地域整備課			ゆうゆう壱番館よなご		(株)DARAZ		
	福祉課			よなご大平園		コミュニティ放送		
	教育委員会事務局			グループホームやまもと		国土交通省	中国地方整備局	倉吉河川 国道事務所
		博愛苑			日野川河川 事務所			
南部町	総務課		交通機関	光生会 (米子ワークホーム)		(ワザ-バー) 国土交通省	中国地方整備局	水災害対策 センター
	建設課			JR西日本(株)	中国統括本部 安全推進部			水災害予報 センター
	健康福祉課			日本交通(株)	米子営業所			
	教育委員会事務局		日ノ丸自動車(株)	米子支店				
	総務・学校教育課		ライフ ライン	中国電力ネットワーク (株)	米子ネットワーク センター配電課			
日吉津村	総務課			米子ガス(株)	米子ネットワーク センター変電課	導管事業部		
	福祉保健課							
	建設産業課							
	教育委員会事務局							
鳥取県	危機管理政策課							
	河川課							
	県民福祉局	西部振興課						
	米子県土整備局	維持管理課						